



皮膚・排泄ケア認定看護師



(Certified Nurse in Wound, Ostomy and Continence Nursing : WOC)

“認定看護師”とは日本看護協会に認定された看護師のことです。

「特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識があると認められた」看護師のことを指し、看護現場において高度な看護実践を提供する他、指導、相談の3つの役割を果たすことにより看護ケアの広がりや質の向上に貢献しています。

認定看護師制度は1995年に発足し、最初に「救急看護」と「皮膚・排泄ケア」の分野で認定看護師の養成が始まりました。

2014年12月現在、認定看護師の分野は21種類あり、全国で約148,282人おり、皮膚・排泄ケア領域では2,057人が活躍しています。



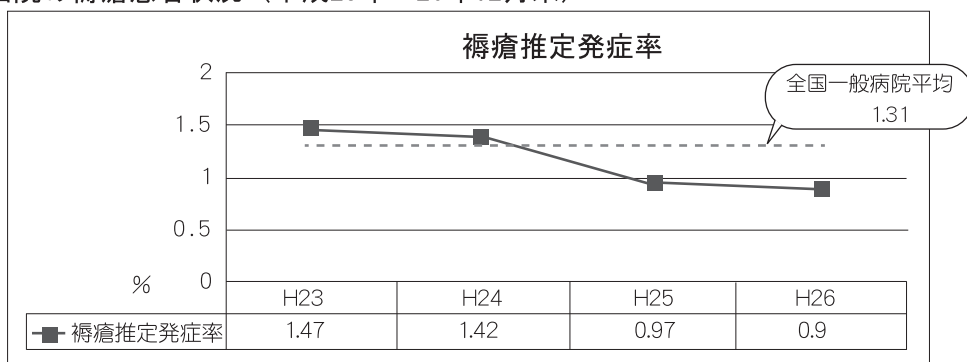
皮膚・排泄ケアの認定看護師(WOC)ってどんな仕事？

ストーマ(人工肛門、膀胱など)造設患者さんや排泄障害のある患者さんの病態理解と、個人に適した排泄管理及び日常生活や精神面の支援をします。また、褥瘡や創傷、失禁などに伴って生じる諸問題をアセスメント(調査や評価)し、適切なケアを提供します。

皮膚・排泄ケアの技術は、看護の基本的技術が基盤になっているので、ケアの質向上を図るためには、WOCが最前線で実践するだけではなく、組織全体の成長を支援できるような教育的なかかわりも重要となります。また、皮膚・排泄ケアに関する問題を抱えている対象は、医療施設に入院している患者さんだけではなく、地域で生活している人々も含まれます。しかも、問題を抱えた高齢者が増えているため、地域全体として、予防の観点からケアの質の向上を目指す取り組みが求められています。

当院にはWOCが3人います。より良いケアを提供するために、情報交換などを行い、お互いに高め合っています。

当院の褥瘡患者状況(平成23年~26年12月末)



[平成23年度4月より褥瘡管理者として活動し統計を開始。褥瘡推定発症率は改善。(一般病院全国平均1.31%)]

私は平成26年12月にがん看護専門看護師(OCNS)の資格を取得しました。WOCとして院内褥瘡発生ゼロを目指しての活動、及びストーマの専門外来を通して活動してきましたが、がんの発生と増加を間近に見て、がん患者さんとその家族に寄り添う看護をしたいと思い、大学院修士課程でがん看護学を専攻し『M. Newmanの拡張する意識としての健康理論』を学びました。今後、がん看護専門看護師としての専門的な活動、役割については、院内はもちろん地域医療機関の皆様と連携してがん患者さんとその家族を地域ぐるみで支える仕組みを作っていきたいと考えております。地域の看護リソースとして活用して頂ければとても嬉しく思います。がん看護専門看護師としては、新任ですがよろしくご支援、協力をお願い申し上げます。

がん看護専門看護師
皮膚・排泄ケア認定看護師
井本 俊子